

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者：(組：) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書：(文学国語 (筑摩書房))

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深める。	言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書	読						
1 学 期	「情報の彫刻」 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討させる。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度を積極的にして、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方を深めさせる。	・指導事項 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解させる。 ・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・四訂版 プログレス現代文総演習標準編 ・1人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 ア) 言葉は、自己と他者との境界を作り替え、自我を外界へと開く力を持っていることを理解している。 イ) 電子メディアの普及とともに、文学の享受の仕方が変わっていくことを理解している。 【思考・判断・表現】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「情報の彫刻」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(発問・授業時の態度)		○	○	○	6
	「バイリンガリズムの政治学」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中でしっかりと理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めさせる。	・指導事項 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解させ、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・四訂版 プログレス現代文総演習標準編 ・1人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 本教材を通して、主張と論拠などの関係について理解し、推論の仕方を理解して使っている。 【思考・判断・表現】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持ち、背後に潜む複数の境界線を分析する筆者の視点に注目している。また、この文章を学習することで、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。		○	○	○	6
	定期考査		○	○			○	○		1	
	「山月記」 【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 フィクションの世界だからこそ際立つ人間の姿を読み取る。 作中人物のやり取りに注目し、小説の中の会話の表現方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 月を描いた場面を本文中から抜き出し、それぞれがどのような効果をあげているか、話し合う。	・指導事項 作者と作品について理解させる。小説の設定について、人物・時代背景を中心に考察させる。登場人物の心情や、詩に対する執着を理解させる。作品の主題について考察させる。 ・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・四訂版 プログレス現代文総演習標準編 ・1人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 ・読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・漢文調などの文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解している。 【思考・判断・表現】 ・読解を通して、我が国だけでなく中国の言語文化の特質についても理解を深め、人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を理解し、考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持ち、具体と抽象の関係に関心を持っている。ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの考え方を深めようとしている。		○	○	○	12

1 学 期	<p>「実体の美と状況の美」</p> <p>【知識及び技能】 日本の美意識の特徴を西欧の美意識と対比させながら理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本と西欧を二項対立として捉え、提示された適切な具体例などにより内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人間の普遍的な価値概念の一つである「美」について考察し、発表させる。</p>	<p>・指導事項 対比の視点を明確に整理させることで、物事の特徴を明らかにするという二項対立の働きを理解させる。</p> <p>個々の具体例の意味を捉えさせ、論の展開における具体と抽象の関係を理解させる。</p> <p>客観的な規則による美と、状況を感性で捉える美の違いを理解させる。</p> <p>・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・四訂版 プログレス現代文総演習標準編 ・1人1台端末の活用 等 Classi Note他</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 読解を通して、本教材に用いられている語句や語彙を正確に理解しできる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ア) 評論文という文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などについて的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。</p> <p>イ) 評論読解の基本となる二項対立や、「具体と抽象」の関係に着目させ、論の構造を捉えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「真・善・美」という人間の価値の一つとされる「美」についての考察を深め、学習の内容に関心を持っている。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、もの考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査		○	○		○	○		1	
2 学 期	<p>「こころ」</p> <p>【知識及び技能】 夏目漱石の文学史的な位置を理解させる。教科書本文が『こころ』全体でどのような位置にあるのか確認させる。重要な語句や表現を確認させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 個人としての自我や欲望に目覚めた結果としての他者との葛藤、そしてその内面的葛藤を描く小説表現の巧みさに対する理解を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 この教材を通して、人生の不条理や取り返しのつかない出来事、精神的傷痕、人が人に示す誠意とは何かを考えさせる契機とする。教材の内容に関心を持つ。(発問・授業時の反応) / 発表を積極的に行わせ、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めさせる。(授業時の反応)</p>	<p>・指導事項 作者、夏目漱石について文学史的な位置を理解させる。『こころ』が後期三部作の最後に位置するものであることを理解させる。教科書本文が「下」からの抜粋であることを理解させる。</p> <p>場面場面における登場人物の心情、特に「私」の心理の移り変わり特に注目させる。</p> <p>この悲劇を生んだ原因となる場面やキーワードを確認させる。</p> <p>・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・四訂版 プログレス現代文総演習標準編 ・1人1台端末の活用 等 Classi Note他</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 教材を指名読みしたり、読解を通して、本教材に用いられている語句や語彙を正確に理解できる。</p> <p>夏目漱石について、他の作品やその足跡について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 様々な場面における「私」と「K」とのやり取りの中で、どのような心情が働いてそのような行動に至ったのかが理解できる。</p> <p>「私」が我執に捕らわれるようになった経緯やその時の心情について、理解を深めることができる。</p> <p>作品の主題、およびタイトルの意味について理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 話の内容や構成、登場人物の心理の変化、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>読書感想文で『こころ』の感想を書き、クラスの中で意見交換ができる。</p>	○	○	○	13
	<p>「メディアと倫理」</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。ベトナム戦争に関する簡単な知識を学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論理的文章であることを踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持たせ、ものの見方、感じ方、考え方を深めさせる。</p>	<p>・指導事項 映像メディアに接する際の留意点を理解させる。</p> <p>ある枠組みで切り取られた光景は、それ以外の要素を捨象することにより、対象に対する見方を固定化させることを理解させる。</p> <p>映像は、抽象化された文字情報よりも、虚偽の認識を生み出しやすいという逆説的特性を持っていることを理解させる。</p> <p>・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・四訂版 プログレス現代文総演習標準編 ・1人1台端末の活用 等 Classi Note他</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。語句の説明や引用の仕方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査		○	○		○	○		1	
	<p>「未来をつくる言葉」</p> <p>【知識及び技能】 コミュニケーションについて、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持たせ、ものの見方、感じ方、考え方を深めさせる。</p>	<p>・指導事項 ①コミュニケーションと翻訳についての筆者の考えを理解する。</p> <p>②筆者の主張を踏まえ、「神様」における「わかりあえなさ」について話し合う。</p> <p>③「星の王子さま」(サン・テグジュペリ)を例に、「翻訳する人に固有の面白さ」が具体的にどのようなように現れているか、話し合う。</p> <p>・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・四訂版 プログレス現代文総演習標準編 ・1人1台端末の活用 等 Classi Note他</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 話し合いにはどのような種類があるのか、会話と対話の違いを参考に、目的や状況に応じた話し合いの仕方や心構えについて考察ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	6

2 学 期	<p>「建築論ノート」</p> <p>【知識及び技能】 語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開、引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持ち、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めさせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①比喩とレトリックを駆使して展開された論理の流れを辿る。 ②本文から比喩表現や擬人法を抜き出して、その効果について話し合う。 ③本文を参考にしてこれまでの建築の問題を挙げ、建築と人間について自分の考えをまとめ、400字程度で書く。</p> <p>・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・四訂版 プログレス現代文総演習標準編 ・1人1台端末の活用 等 Classi Note他</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 文学的な文章やそれに関する文章の種類(随想・評論)や特徴などについて理解を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し自ら使っている。本教材を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。本教材の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p>	○	○	○	7
	定期考査		○	○		○	○		1	
3 学 期	<p>「ラムネ氏のこと」</p> <p>【知識及び技能】 引用の仕方や例示の方法、それらの必要性についての理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実社会との関わりを考えるための文章の意義と効用について理解を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 平易な文章の中でも、しっかりとした主張や、言葉に隠された意味を見出し、評論文における社会への告発に気づかせ理解を深める。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①本文中のそれぞれのたとえ話に共通点を見つけ、隠れたメッセージを読み取る。 ②筆者の考える「一生の業」とはどのようなものか、話し合う。 ③筆者はこのエッセイを通して何を伝えようとしているか、400字程度にまとめる。</p> <p>・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・四訂版 プログレス現代文総演習標準編 ・1人1台端末の活用 等 Classi Note他</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 随想・評論の特徴などについて理解を深めている。本教材における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。また、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の文体や語句などの表現の仕方を工夫する。</p>	○	○	○	7
	<p>「永訣の朝」</p> <p>【知識及び技能】 詩歌は、作者自身の経験に裏付けられた個性的な表現と想像力の結晶であることを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 詩歌の本質は論理の積み重ねではなく、あくまでもイメージと韻律によってその世界を深めていくことを前提としていることを理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 何度も作品を朗読し、作品を自分の中に落とし込み、自らの経験と照らし合わせて味わわせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①それぞれの詩の作者について、経歴や作風などを調べ、詩の表現や内容について読み解く。 ②それぞれの詩を、構成・リズムに注意して朗読する。 ③三編の詩から自分がもっとも気に入った詩を選び、400字程度の鑑賞文を書く。</p> <p>・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・四訂版 プログレス現代文総演習標準編 ・1人1台端末の活用 等 Classi Note他</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 詩の特徴や修辭の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な詩句になるよう工夫していることを理解する。構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。言葉を通してものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査		○	○		○	○		1		
合計										78

2 学 期	<p>古文 物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「飽かぬ別れ」 漢文 『史記』「鴻門之会」 【知識及び技能】 言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>古文 ①助動詞の既習事項確認 ②古語単語小テスト ③文章構成、表現の特徴、人物の心情の理解 ④敬語法の習得（二方面敬意）</p> <p>漢文 ①正確な訓読と書き下し文 ②重要句法の理解と暗唱</p> <p>・課題テスト ・古語単語テスト ・中間考査 ・課題 ・1人1台端末の活用</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めることができる。我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。</p>	○	○	○	23
	定期考査		○	○		○	○		1	
	<p>古文 物語『源氏物語』若紫の誕生 日記『蜻蛉日記』「嘆きつつ」 詩歌『新古今和歌集』 漢文 『史記』「四面楚歌」 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>古文 ①助動詞の既習事項確認 ②古語単語小テスト ③文章構成、表現の特徴、人物の心情の理解 ④敬語法の習得（二方面敬意）</p> <p>漢文 ①正確な訓読と書き下し文 ②重要句法の理解と暗唱</p> <p>・課題テスト ・古語単語テスト ・期末考査 ・課題 ・1人1台端末の活用</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。</p>	○	○	○	23
定期考査		○	○		○	○		1		
3 学 期	<p>古文 物語『大鏡』 「花山院の出家」 「公任、三船の誉れ」 「南の院の鏡射」 漢文 思想『論語』『孟子』『荀子』 【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>古文 ①助動詞総まとめ ②古語単語総まとめ ③文章構成、表現の特徴、人物の心情の理解 ④敬語法総まとめ</p> <p>漢文 ①正確な訓読と書き下し文 ②重要句法の理解と暗唱 ③儒教思想の理解</p> <p>問題演習 ①複数のテキストの比較読み</p> <p>・学力調査 ・古語単語テスト ・学年末考査・課題 ・1人1台端末の活用</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整することができる。</p>	○	○	○	22
	定期考査		○	○		○	○		1	
合計										117

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～ 8組
 教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（山川出版社『詳説日本史探究』）
 教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 日本列島社会の成り立ちを理解するのに必要な日本の各地域・アジアの歴史と交流について、基本的な知識を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 歴史上の出来事について、その原因や影響を探究することで思考力・判断力を培う。また、自分の考えを表明したり論述することによって表現力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 歴史に興味を持たせ、現代の様々な問題を理解するカギになることに気付かせる。また、他国・他地域の文化と日本文化を比較しながら学ぶことによってグローバルな世界観を身につける。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本列島社会の成り立ちを理解するのに必要な日本の各地域・アジアの歴史と交流について、基本的な知識を身につける。	歴史上の出来事について、その原因や影響を探究することで思考力・判断力を培う。また、自分の考えを表明したり論述することによって表現力を養う。	歴史に興味を持たせ、現代の様々な問題を理解するカギになることに気付かせる。また、他国・他地域の文化と日本文化を比較しながら学ぶことによってグローバルな世界観を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 日本文化のあけぼの 【知識及び技能】 日本の黎明期に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の黎明期に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の黎明期に関する史資料に自ら問いを設定し、調査を行うことができる。	・指導事項 文化の始まり 農耕社会の成立 ・教材 教科書・資料集 授業者作成のプリント ・一人1台端末の活用 等 動画配信 インターネット利用の事項検索	【知識・技能】 日本文化の黎明期に関する史資料や歴史用語を読解し、理解できる。 【思考・判断・表現】 日本文化の黎明期に関して、史資料を用いて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。	○	○	○	4
	B 古墳とヤマト政権 【知識及び技能】 ヤマト政権に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ヤマト政権に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ヤマト政権に関する史資料に自ら問いを設定し、調査を行うことができる。	・指導事項 古墳文化の展開 飛鳥の朝廷 ・教材 教科書・資料集 授業者作成のプリント ・一人1台端末の活用 等 動画配信 インターネット利用の事項検索	【知識・技能】 古墳とヤマト政権に関する史資料や歴史用語を読解し、理解できる。 【思考・判断・表現】 古墳とヤマト政権に関して、史資料を用いて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	C 律令国家の形成 【知識及び技能】 律令国家に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 律令国家に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 律令国家に関する史資料に自ら問いを設定し、調査を行うことができる。	・指導事項 律令国家の成立 律令国家の変容 ・教材 教科書・資料集 授業者作成のプリント ・一人1台端末の活用 等 動画配信 インターネット利用の事項検索	【知識・技能】 律令国家の形成に関する史資料や歴史用語を読解し、理解できる。 【思考・判断・表現】 律令国家の形成に関して、史資料を用いて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
2 学 期	A 律令国家の変容と文化（前半） 【知識及び技能】 桓武・嵯峨朝の政治と文化に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 桓武・嵯峨朝の政治と文化に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 桓武・嵯峨朝の政治と文化に関する史資料に自ら問いを設定し、調査を行うことができる。	・指導事項 桓武・嵯峨朝の政治 桓武・嵯峨朝の文化 ・教材 教科書・資料集 授業者作成のプリント ・一人1台端末の活用 等 動画配信 インターネット利用の事項検索	【知識・技能】 律令国家の変容に関する史資料や歴史用語を読解し、理解できる。 【思考・判断・表現】 律令国家の変容に関して、史資料を用いて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。	○	○	○	9
	A 貴族政治の展開（前半） 【知識及び技能】 摂関政治に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 摂関政治に関する史資料を読解し、歴史事項と関連付けて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 摂関政治に関する史資料に自ら問いを設定し、調査を行うことができる。	・指導事項 摂関政治 国風文化 ・教材 教科書・資料集 授業者作成のプリント ・一人1台端末の活用 等 動画配信 インターネット利用の事項検索	【知識・技能】 貴族政治の展開に関する史資料や歴史用語を読解し、理解できる。 【思考・判断・表現】 貴族政治の展開に関して、史資料を用いて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をもち、問いを設定している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	B 貴族政治の展開（後半） 【知識及び技能】 国風文化・地方武士に関する史資料を 読解し、歴史事項と関連付けて理解で きる。 【思考力、判断力、表現力等】 国風文化・地方武士に関する史資料を 読解し、歴史事項と関連付けて表現で きる。 【学びに向かう力、人間性等】 国風文化・地方武士に関する史資料に 自ら問いを設定し、調査を行うことが できる。	・指導事項 国風文化 地方政治の展開と武士 ・教材 教科書・資料集 授業者作成のプリント ・一人1台端末の活用 等 動画配信 インターネット利用の事項検索	【知識・技能】 貴族政治の展開に関する史資料や歴史用語を読 解し、理解できる。 【思考・判断・表現】 貴族政治の展開に関して、史資料を用いて説明 することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をも ち、問いを設定している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	C 院政と武士の躍進 【知識及び技能】 院政と平氏政権に関する史資料を読解 し、歴史事項と関連付けて理解でき る。 【思考力、判断力、表現力等】 院政と平氏政権に関する史資料を読解 し、歴史事項と関連付けて表現でき る。 【学びに向かう力、人間性等】 院政と平氏政権に関する史資料に自ら 問いを設定し、調査を行うことができ る。	・指導事項 院政 平氏政権 ・教材 教科書・資料集 授業者作成のプリント ・一人1台端末の活用 等 動画配信 インターネット利用の事項検索	【知識・技能】 院政と武士の躍進に関する史資料や歴史用語を 読解し、理解できる。 【思考・判断・表現】 院政と武士の躍進に関して、史資料を用いて説 明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をも ち、問いを設定している。	○	○	○	9
	A 武家社会の成立 【知識及び技能】 鎌倉幕府と武家社会に関する史資料を 読解し、歴史事項と関連付けて理解で きる。 【思考力、判断力、表現力等】 鎌倉幕府と武家社会に関する史資料を 読解し、歴史事項と関連付けて表現で きる。 【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉幕府と武家社会に関する史資料に 自ら問いを設定し、調査を行うことが できる。	・指導事項 鎌倉幕府と武家社会 蒙古襲来 ・教材 教科書・資料集 授業者作成のプリント ・一人1台端末の活用 等 動画配信 インターネット利用の事項検索	【知識・技能】 武家社会の成立に関する史資料や歴史用語を読 解し、理解できる。 【思考・判断・表現】 武家社会の成立に関して、史資料を用いて説明 することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業者の解説を聞くだけでなく、自ら疑問をも ち、問いを設定している。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
					合計	78	

高等学校 令和8年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者： (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書： (山川出版社「詳説世界史」)

- 教科 地理歴史 の目標：
- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の成り立ちを理解するのに必要な各地域・国の歴史と交流について、基本的な知識を身につける。	歴史上の出来事について、その原因や影響を探究することにより思考力・判断力を培う。また、自分の考えを表明したり論述することにより表現力を養う。	歴史に興味を持ち、現代の様々な問題を理解するカギになることに気付く。また、他国・他地域の文化を学ぶことによってグローバルな世界観を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	A 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 人類の進化、言語の分化などについて基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 農耕・牧畜の意義について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで意見を出し合い、それをまとめて発表する。	・指導事項 世界史へのまなざし 文明の誕生 ・教材 教科書・資料集・授業プリント ・一人1台端末の活用等 Classi Note インターネットの事項検索	【知識・技能】 人類の進化、言語の分化などについて、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 農耕・牧畜の意義について考察し、それを論述・発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ討論で積極的に意見を述べ、また他人の意見も取り入れることができる。	○	○	○	2
	A 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 オリエント・南アジア・中国の古代文明について、基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の文明がその後の世界に与えた影響について考察し、それを発表する。現代社会を理解するにあたって、ヒンドゥー教や中国の古典思想などとの関係性を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで意見を出し合い、それをまとめて発表する。	・指導事項 古代オリエント文明とその周辺 南アジアの古代文明 中国の古代文明 ・教材 教科書・資料集・授業プリント ・一人1台端末の活用等 Classi Note インターネットの事項検索	【知識・技能】 オリエント・南アジア・中国の古代文明について、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 各地の文明がその後の世界に与えた影響や、ヒンドゥー教・中国の古典思想について考察した結果を論述・発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ討議で積極的に意見を述べ、また他人の意見も取り入れることができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	A 文明の成立と古代文明の特質 B 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 ・南北アメリカ諸文明について、基本的な知識を身につける。 ・騎馬遊牧民とオアシス都市の活動について理解する。秦～唐代にいたる中国の歴史と周辺国について基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 秦・漢帝国と世界のつながりを考察し、また唐代に東アジア世界を形成したことを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで意見を出し合い、それをまとめて発表する。	・指導事項 南北アメリカ文明 中央ユーラシアー草原とオアシスの世界 秦・漢帝国 中国の動揺と変容 東アジア文化圏の形成 ・教材 教科書・資料集・授業プリント ・一人1台端末の活用等 Classi Note インターネットの事項検索	【知識・技能】 南北アメリカ諸文明について、基本的な知識を身につけている。 騎馬遊牧民とオアシス都市の活動について理解し、また秦～唐代にいたる中国の歴史と周辺国について、基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 秦・漢帝国と世界のつながりや東アジア世界について考察した結果を論述・発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ討議で積極的に意見を述べ、また他人の意見を取り入れることができる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～8組
 教科担当者：(組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書：(高等学校 公共)

教科 公民 の目標：
【知識及び技能】 日本国の公民として必要となる倫理、経済、政治に関する基礎的基本的な知識を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 様々な思想を学び、自らの意見を考えることで思考力、判断力を培う。その考えを人に伝え、互いに話し合う機会を設けることで表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 現在の社会問題や課題に対し主体的に問題を捉え、他者と協力して積極的にその解決に取り組む姿勢を養う。

科目 公共 の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
日本国の公民として必要となる倫理、経済、政治に関する基礎的基本的な知識を養う。	様々な思想を学び、自らの意見を考えることで思考力、判断力を培う。その考えを人に伝え、互いに話し合う機会を設けることで表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	現在の社会問題や課題に対し主体的に問題を捉え、他者と協力して積極的にその解決に取り組む姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 青年期の特徴や、その課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な葛藤などの事案に対して、その対処法を考え、述べる事が出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の枠組みの中で、これらの課題とどのように向き合い、どう解決すべきかを考え、自らの意見を述べる事が出来る。	・指導事項 私たちの人間と社会 青年期の心理と課題 ・教材 教科書「高等学校 公共」 ・一人1台端末の活用 等 動画や映像資料の配信 グループワークでの意見交換	【知識・技能】 青年期に関する基礎的、基本的な用語を理解している。 【思考・判断・表現】 青年期における課題の内容を理解し、具体的な出来事を青年期との関連の中で説明することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の課題を自己と関わる出来事として理解し、自身ならばどうするかを考える事が出来る。	○	○	○	12
	B 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 古代ギリシャの思想家に関する基本的な内容を理解する。三大世界宗教の基本的な内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの思想家の考え方を理解し、その特徴を述べる事が出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 個々人の思想の違いを受け入れ、多様な価値観を認める事が出来る。	・指導事項 哲学の始原と発展—ギリシャ思想 一神教の教え 東洋の宗教と思想(1)—仏教 ・教材 教科書「高等学校 公共」 ・一人1台端末の活用 等 動画や映像資料の配信 グループワークでの意見交換	【知識・技能】 古代ギリシャ、世界宗教に関する基本的な用語、思想を理解する。 【思考・判断・表現】 それぞれの思想家の特徴を捉え、彼らの残した言葉の意味を類推することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 思想や宗教が現代社会にどのような影響を与えているのかを考え、具体的な事例を挙げる事が出来る。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	C 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 古代日本思想、および日本の仏教思想について基本的な内容を理解する。江戸時代から現代にかけての日本の思想について基本的な内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本思想にどのような変遷があったのか、歴史的な知識を活用してその時代背景を推察することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 私たちの日常生活の中に仏教や儒教、西洋思想などがどのように影響を与えているのかを考え、身近な思想として捉えようとしている。	・指導事項 東洋の宗教と思想(2)—儒教 日本の風土と神仏への信仰 江戸時代の学問と近代化への歩み ・教材 教科書「高等学校 公共」 ・一人1台端末の活用 等 動画や映像資料の配信 グループワークでの意見交換	【知識・技能】 儒教、日本の仏教、神道に関する基本的な知識を理解する。 【思考・判断・表現】 環境と宗教、文化のつながりを意識し、これらが現代の人々にどのような影響を与えているのかを考え、自分の考えを述べる事が出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な出来事や、自分の経験の中から日本思想とのつながりを意識し、問題を主体的にとらえようとしている。	○	○	○	15
	D 公共的な空間における基本原理 【知識及び技能】 近代西洋思想について、科学的思想とはどのようなものか認識し、社会の在り方や基本的人権の確立について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 行為の善悪について、その根拠を考え、自らの意見を述べる事が出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の在り方、科学の発展とその問題点について意識し、現代の諸課題について理解を深める。	・指導事項 義務論と功利主義 生命倫理 環境倫理 近代的人間像の誕生(1) —近代の始まり 近代的人間像の誕生(2) —科学的思考 ・教材 教科書「高等学校 公共」 ・一人1台端末の活用 等 動画や映像資料の配信 グループワークでの意見交換	【知識・技能】 西洋近代思想における基礎的基本的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 近代思想の特徴を捉え、その思考法を理解している。また、私たちが普段どのように思考しているかを考え、関連を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 民主主義の在り方や、資本主義における格差問題など、現代の課題などと関連付けて理解を深めようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者： (組：) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書： (数学Ⅱ (数研出版))

- 教科 数学 の目標：
- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>図形と方程式 (円、軌跡と領域)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 円の方程式を求める。 円と直線の位置関係を調べる。 円の接線の公式を利用する。 2円の位置関係を調べる。 与えられた条件を満たす点の軌跡を求める。 不等式や連立不等式の表す領域を図示する。 不等式の表す領域を利用する最大最小の求め方や命題の証明方法を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 円と直線の共有点の個数を2次方程式の実数解から考察する。 円と直線の位置関係を考察する。 2円の位置関係を考察する。 点が満たす条件から得られた方程式を図形として考察する。 命題の真偽を真理集合の包含関係で考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 円と直線の位置関係を求める方法を複数考える。 不等式の表す領域を最大最小の問題や命題の証明問題に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 円の方程式、円と直線 2つの円、軌跡と方程式 不等式の表す領域 教材 サクシード (数研出版) チャート式基礎からの数学 (数研出版) 一人1台端末の活用等 Classi Note他 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 円の方程式の求め方を理解している。 円と直線の位置関係を判定できる。 円の接線の公式を理解し、利用できる。 2円の位置関係を調べることができる。 軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 不等式や連立不等式の表す領域を図示することができる。 不等式の表す領域を利用する最大最小の求め方や命題の証明方法を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 円と直線の共有点の個数を2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係から、円と直線の位置関係を考察することができる。 2円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係で考察することができる。 点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。 命題の真偽を真理集合の包含関係で考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 円と直線の位置関係を、2次方程式の判別式や円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。 不等式の表す領域を最大最小の問題や命題の証明問題に活用しようとする。 	○	○	○	15
定期考査			○	○	○	1

1 学 期	<p>三角関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算をする。 ・弧度法による三角関数の値を定義によって求める。 ・三角関数の相互関係を理解し、それらを適切に利用する。 ・$-\theta$や$\theta \pm \pi$などの公式を理解し、適切に利用する。 ・三角関数のグラフのかき方と周期の求め方を理解する。 ・三角関数を含む方程式・不等式の解き方を理解する。 ・加法定理や2倍角などの公式を利用して三角関数の値を求める。 ・三角関数の合成を理解し、方程式・不等式を解いたり、関数の最大最小を求めたりする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弧度法について考察する。 ・三角比の定義を、三角関数の定義に一般化して考察する。 ・単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察する。 ・三角関数を含む方程式・不等式を、様々な公式や単位円を利用して考察する。 ・三角関数の合成は、同じ周期をもつ2つの関数の合成であることを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弧度法に興味をもち、角度の換算に取り組む。 ・単位円を利用して三角関数の性質を調べる。 ・三角関数の合成について調べる。 	<p>・指導事項</p> <p>一般角と弧度法、三角関数 三角関数の性質・グラフ 三角関数の応用、加法定理 加法定理の応用 三角関数の合成</p> <p>・教材</p> <p>サクシード（数研出版） チャート式基礎からの数学 （数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用等</p> <p>Classi Note他</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。 ・弧度法による三角関数の値を定義によって求めることができる。 ・三角関数の相互関係を理解し、それらを適切に利用することができる。 ・$-\theta$や$\theta \pm \pi$などの公式を理解し、適切に利用することができる。 ・いろいろな三角関数のグラフのかき方と周期の求め方を理解している。 ・三角関数を含む方程式・不等式の解き方を理解している。 ・加法定理や2倍角、半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ・三角関数の合成を理解し、それを利用して方程式・不等式を解いたり、関数の最大最小を求めたりすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弧の長さで角を図る弧度法を考察することができる。 ・三角比の定義を、三角関数の定義に一般化して考察することができる。 ・単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。 ・三角関数を含む方程式・不等式を、様々な公式や単位円を利用して考察することができる。 ・三角関数の合成は、同じ周期をもつ2つの関数の合成であることを理解している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弧度法に興味をもち、角度の換算に取り組もうとする。 ・単位円を利用して三角関数の性質を調べようとする。 ・加法定理から2倍角の公式、半角の公式を導こうとする。 ・三角関数の合成に興味・関心をもつ。 	○	○	○	22
定期 考 査				○	○	○	1
2 学 期	<p>指数関数と対数関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数・有理数指数の累乗の定義を理解し、累乗の計算や指数法則を用いた計算をする。 ・累乗根の定義を理解し、累乗根の計算をする。 ・指数関数のグラフの概形、特徴を理解する。 ・指数関数を含む方程式・不等式を解く。 ・対数の定義を理解し、対数の値を求める。 ・対数の性質を用いた計算や等式の証明をする。 ・対数関数のグラフの概形、特徴を理解する。 ・対数関数を含む方程式・不等式を解く。 ・常用対数を利用して、桁数の問題などを解く。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数関数の増減から、大小関係や方程式・不等式を考察する。 ・指数対数の関係から、両者のグラフの対称関係を考察する。 ・対数関数の増減から、大小関係や方程式・不等式を考察する。 ・常用対数の有用性について考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数法則が成り立つためには、累乗の定義をどうすればよいか調べる。 ・指数と対数の関係に興味・関心をもつ。 ・現実世界の問題を常用対数を用いて解く。 	<p>・指導事項</p> <p>指数の拡張、指数関数 対数とその性質、対数関数 常用対数</p> <p>・教材</p> <p>サクシード（数研出版） チャート式基礎からの数学 （数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用等</p> <p>Classi Note他</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数・有理数指数の累乗の定義を理解し、累乗の計算や指数法則を用いた計算をすることができる。 ・累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。 ・指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・底と1の大小に注意して、指数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 ・対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 ・対数の性質を用いた計算や等式の証明の方法がわかる。 ・対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・底と1の大小に注意して、対数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 ・常用対数を利用して、桁数の問題などを解くことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 ・対数と指数の関係から、両者のグラフが互いに直線 $y=x$ に関して対称であるという見方ができる。 ・対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 ・常用対数の有用性について考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数法則が成り立つためには、0乗、負の整数乗、分数乗の定義をどうすればよいか調べようとする。 ・指数と対数の関係に興味・関心をもつ。 ・バクテリアの分裂など、現実世界の問題を常用対数を用いて解こうとする。 	○	○	○	25
定期 考 査				○	○	○	1

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学B・C

教科: 数学 科目: 数学B・C 単位数: 2・1 単位
 対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者: (組:) (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: (数学B、数学C (数研出版))

教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B・C の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測、ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数学C ベクトル 【知識及び技能】 ・ベクトルの演算の仕組みを理解する。 ・ベクトルの平行条件や分解を理解する。 ・成分表示での大きさ・和・差・実数倍の計算を行う。 ・内積の性質を理解し計算に利用する。 ・線分の内分点・外分点、三角形の重心を位置ベクトルで表す公式を理解する。 ・3点が一直線上にある条件を理解し、それを利用する。 ・直線や円のベクトル方程式について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和や差での逆ベクトルや零ベクトルの役割を理解する。 ・位置ベクトルを活用して、図形の性質を考察する。 ・与えられた条件式を満たす点Pの存在範囲を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ベクトルの演算と数式の演算法則との類似性を考察する。 ・ベクトルの内積のもつ図形的意味を探る。 ・位置ベクトルを用いて、平面図形の命題を証明する。	・指導事項 平面上のベクトル ベクトルの演算・成分・内積 位置ベクトル、ベクトルと図形、ベクトル方程式 ・教材 サクシード (数研出版) チャート式基礎からの数学 (数研出版) ・一人1 台端末の活用等 Classi Note他	【知識・技能】 ・ベクトルの演算の仕組みを理解し、加法・減法・実数倍を考察できる。 ・ベクトルの平行条件や分解を理解している。 ・成分表示されたベクトルの大きさ・和・差・実数倍の計算ができる。 ・内積の性質を理解し計算に利用できる。 ・線分の内分点・外分点、三角形の重心を位置ベクトルで表す公式を理解している。 ・3点が一直線上にある条件を理解し、それを利用できる。 ・直線や円のベクトル方程式について理解している。 【思考・判断・表現】 ・和や差における逆ベクトルや零ベクトルの役割を理解している。 ・位置ベクトルを活用して、図形の性質が考察できる。 ・与えられた条件式を満たす点Pの存在範囲を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ベクトルの演算に興味・関心をもち、数式の演算法則との類似性を考察しようとする。 ・ベクトルの内積のもつ図形的意味を探ろうとする。 ・位置ベクトルを用いて、平面図形についての命題を証明しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1

	<p>数学C ベクトル</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間ベクトルの和や差、実数倍を考察する。 成分表示された空間ベクトルの大きさ・和・差・実数倍の計算を行う。 立体図形におけるベクトルの内積を計算する。 ベクトルのなす角を、内積を利用して求める。 空間での3点が一直線上にある条件を理解し、利用する。 ある点が3点で定まる平面上にある条件を理解し、利用する。 座標軸に垂直な平面の方程式や球面の方程式を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間ベクトルを平面ベクトルの拡張と捉え、平面ベクトルでも成り立つ性質が空間でも同様に成り立つことを理解する。 位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間ベクトルと平面上のベクトルを比較して考察する。 3点が定める平面上の点の位置ベクトルを考察し、その結果を利用する。 <p>定期考査</p>	<p>指導事項</p> <p>空間の座標、空間のベクトル空間のベクトルの成分・内積位置ベクトル、ベクトルと図形、座標空間における図形</p> <p>教材</p> <p>サクシード（数研出版） チャート式基礎からの数学（数研出版）</p> <p>一人1 台端末の活用等 Classi Note他</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間ベクトルの和や差、実数倍を考察できる。 成分表示された空間ベクトルの大きさ・和・差・実数倍の計算ができる。 立体図形におけるベクトルの内積を、適切な方法で計算できる。 ベクトルのなす角を、内積を利用して求められる。 空間において3点が一直線上にある条件を理解し、それを利用できる。 ある点が3点で定まる平面上にあるための条件を理解し、それを利用できる。 座標軸に垂直な平面の方程式や球面の方程式を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張として捉えることができ、平面上のベクトルで成り立つ性質が空間においても同様に成り立つことを理解している。 位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間のベクトルと平面上のベクトルを比較して考察しようとする。 3点が定める平面上の点の位置ベクトルを一般的に考察し、その結果を利用しようとする。 	○	○	○	22
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	<p>数学B 数列（数列とその和）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数列の用語や表記を理解する。 等差数列の一般項を決定する。 等差数列の和の公式を利用して、等差数列の和を求める。 等比数列の一般項を決定する。 等比数列の和の公式を利用して、等比数列の和を求める。 和の記号Σの意味を理解し、数列の和を求める。 数列の第k項の式を求め、初項から第n項までの和を求める。 階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求める。 和の求め方の工夫をして、数列の和を求める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数の並び方から規則性を推測し、数列の一般項を考察する。 等差数列の和の最大・最小について考察する。 Σの性質を利用して、数列の和の計算を簡単に行う。 初項から第n項までの和に着目して、一般項を考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数の並び方に興味をもち、規則性を発見する。 複利計算に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組む。 群数列に興味をもち、一般項や和について考察する。 <p>定期考査</p>	<p>指導事項</p> <p>数列、等差数列とその和等比数列とその和和の記号Σ、階差数列いろいろな数列の和</p> <p>教材</p> <p>サクシード（数研出版） チャート式基礎からの数学（数研出版）</p> <p>一人1 台端末の活用等 Classi Note他</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数列の用語や表記を理解している。 等差数列の公差などの条件から一般項を決定できる。また、等差数列の和の公式を利用して、等差数列の和が求められる。 等比数列の公比などの条件から一般項を決定できる。また、等比数列の和の公式を利用して、等比数列の和が求められる。 和の記号Σの意味を理解し、数列の和が求められる。 数列の第k項をkの式で表すことで、初項から第n項までの和が求められる。 階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 和の求め方の工夫をして、数列の和が求められる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数の並び方から規則性を推測し、数列の一般項を考察できる。 項の正負と数列の和の増減から、等差数列の和の最大・最小について考察できる。 Σの性質を利用して、数列の和の計算を簡単に行うことができる。 初項から第n項までの和に着目して、一般項を考察できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数の並び方に興味をもち、規則性を発見しようとする。 複利計算に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。 群数列に興味をもち、一般項や和について考察しようとする。 	○	○	○	25
	定期考査			○	○	○	1
	<p>数学B 数列（数学的帰納法）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漸化式の意味を理解し、具体的に項を求める。 初項と漸化式から数列の一般項を求める。 数学的帰納法を用いて、等式を証明する。 数学的帰納法を用いて、整数の性質を証明する。 数学的帰納法を用いて、不等式を証明する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漸化式を適切に変形して、数列の特徴を考察する。 条件からa_nとa_{n+1}の間に成り立つ漸化式を求めて考察する。 自然数nに関する命題の証明には数学的帰納法が有効なことを理解し、活用する。 数列の一般項を推測し、その証明に数学的帰納法を活用する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について考察する。 確率漸化式に興味・関心をもち、問題解決に利用する。 数学的帰納法を用いて、いろいろな事柄を積極的に証明する。 <p>定期考査</p>	<p>指導事項</p> <p>漸化式と数列確率と漸化式数学的帰納法</p> <p>教材</p> <p>サクシード（数研出版） チャート式基礎からの数学（数研出版）</p> <p>一人1 台端末の活用等 Classi Note他</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。 初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 数学的帰納法を用いて、等式を証明できる。 数学的帰納法を用いて、整数の性質を証明できる。 数学的帰納法を用いて、不等式を証明できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漸化式を適切に変形して、数列の特徴を考察できる。 与えられた条件から、a_nとa_{n+1}の間に成り立つ漸化式を求めて考察できる。 自然数nに関する命題の証明には数学的帰納法が有効なことを理解し、活用できる。 数列の一般項を推測し、それが正しいことの証明に数学的帰納法を活用できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について考察しようとする。 確率の問題に漸化式が活用できることに興味・関心をもち、問題解決に利用しようとする。 数学的帰納法を用いて、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。 	○	○	○	21
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	<p>数学B 統計的な推測</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な試行について、確率分布を求める。 ・確率変数の期待値・分散・標準偏差を求める。 ・確率変数の変換公式を理解し、それを用いて期待値・分散・標準偏差を求める。 ・確率変数の和の期待値などを、公式を利用して求める。 ・独立な確率変数の積の期待値、和の分散を求める。 ・二項分布に従う確率変数の期待値・分散・標準偏差を求める。 ・標準正規分布に従う確率変数Zについての確率を求める。 ・正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換して確率を求める。 ・母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求める。 ・標本平均の分布を正規分布で近似して確率を求める。 ・信頼区間の考え方をを用いて、母平均や母比率の推定を行う。 ・仮説検定の意味を理解し、正規分布を用いた仮説検定を行う。 ・母平均に対する仮説検定を行う。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率変数の期待値・分散・標準偏差などを用いて、確率分布の特徴を考察する。 ・反復試行の結果を、二項分布を用いて考察する。 ・身近な問題を統計的に処理するのに正規分布を利用する。 ・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方を理解する。 ・推定や信頼区間の考え方を理解する。 ・仮説検定の考え方を理解する。 ・片側検定と両側検定の違いを理解し、適切に活用する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率変数の変換や和・積の期待値・分散に関する公式を、自ら進んで導こうとする。 ・二項分布に興味をもつ。 ・正規分布に興味をもつ。 ・様々な調査に興味をもち、特徴を調べる。 ・大数の法則に興味をもつ。 ・仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち、現実の問題に役立てる。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 確率変数と確率分布 確率変数の期待値と分散 確率変数の変換 確率変数の和と期待値 独立な確率変数と期待値・分散 二項分布、正規分布 母集団と標本 標本平均とその分布 推定、仮説検定 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> サクシード (数研出版) チャート式基礎からの数学 (数研出版) <p>・一人1台端末の活用等</p> <p>Classi Note他</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な試行について、確率分布を求められる。 ・確率変数の期待値・分散・標準偏差を求められる。 ・確率変数の変換公式を理解し、それを用いて期待値・分散・標準偏差を求められる。 ・確率変数の和の期待値などを、公式を利用して求められる。 ・独立な確率変数の積の期待値、和の分散を求められる。 ・二項分布に従う確率変数の期待値・分散・標準偏差を求められる。 ・標準正規分布に従う確率変数Zについての確率を求められる。 ・正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換して確率を求められる。 ・母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求められる。 ・標本平均の分布を正規分布で近似して確率を求められる。 ・信頼区間の考え方をを用いて、母平均や母比率の推定ができる。 ・仮説検定の意味を理解し、正規分布を用いた仮説検定ができる。 ・母平均に対する仮説検定ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率変数の期待値・分散・標準偏差などを用いて、確率分布の特徴を考察できる。 ・反復試行の結果を、二項分布を用いて考察できる。 ・日常の身近な問題を統計的に処理するのに正規分布を利用できる。 ・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 ・推定や信頼区間の考え方がわかる。 ・仮説検定の考え方がわかる。 ・片側検定と両側検定の違いを理解し、適切に活用することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率変数の変換や和・積の期待値・分散に関する公式を、定義や既知の公式を用いて自ら進んで導こうとする。 ・二項分布に興味をもち、さいころ投げなどの試行について考察しようとする。 ・正規分布に興味をもち、正規分布について考察しようとする。 ・実際に実施されている様々な調査に興味をもち、その特徴を調べたり考えたりしようとする。 ・大数の法則に興味をもち、標本の大きさnが大きくなる時の分布曲線の変化を、コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。 ・仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち、現実の問題に役立てようとする。 	○	○	○	29
	定期考査			○	○	○	1
						合計	
						117	

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：3 単位
 対象学年組：第2学年 1組～8組
 教科担当者：（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（数研出版 化学基礎）

教科 理科 の目標：
 【知識及び技能】 身の回りの現象や物質の性質と関連付けながら、化学に関する知識を身につけ、理解する。また、基本的な実験技能や実験報告書の方法を習得する。
 【思考力、判断力、表現力等】 実験を見通しをもって行い、結果を用いて科学的に考察する力を身につける。また、未知の現象や物質の性質について予測し、適切に表現する力を身につける。
 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの現象や物質の性質に興味を持ち、科学的に探究する姿勢を身につける。

科目 化学基礎	の目標：
【知識及び技能】	身の回りの現象や物質の性質と関連付けながら、化学に関する知識を身につけ、理解する。また、基本的な実験技能や実験報告書の方法を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】	実験を見通しをもって行い、結果を用いて科学的に考察する力を身につける。また、未知の現象や物質の性質について予測し、適切に表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	身の回りの現象や物質の性質に興味を持ち、科学的に探究する姿勢を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 【知識及び技能】 物質の基本的な分類・混合物の分離、精製の手段・元素の検出方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 混合物の分離の方法を科学的に考察し、実験計画の立案ができる。 元素の検出実験の結果から、未知試料の中の成分元素を特定できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の分類や元素の検出に興味を持ち、日常生活との関連から学習内容を活用しようとする。	・物質の分類 ・混合物の分離・精製 ・成分元素の検出	【知識及び技能】 物質の基本的な分類・混合物の分離、精製の手段・元素の検出方法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 混合物の分離の方法を科学的に考察することで、実験計画の立案ができている。 与えられた元素の検出実験の結果から、未知試料の中の成分元素を特定できている。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の分類や元素の検出に興味を持ち、日常生活との関連から学習内容を活用しようとしている。	○	○	○	9
	第1編 物質の構成と化学結合 第2章 物質の構成粒子 【知識及び技能】 物質が原子やイオンからなることを理解し、その成り立ちを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 元素の周期律を見出し、物質の構成粒子について、周期律を基に物質の構成粒子について科学的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構成粒子に興味を持ち、日常生活との関連から学習内容を活用しようとする。	・原子とその構造 ・イオン ・周期表	【知識及び技能】 物質が原子やイオンからなることを理解し、その成り立ちを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 元素の周期律を見出し、物質の構成粒子について、周期律を基に物質の構成粒子について科学的に考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構成粒子に興味を持ち、日常生活との関連から学習内容を活用しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第1編 物質の構成と化学結合 第3章 粒子の結合 【知識及び技能】 様々な種類の化学結合・結晶について理解し、その物性を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な物質をつくる化学結合や結晶の様式を適切に予測し、その物性を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 粒子の結合に興味を持ち、身の回りの物質の性質との関連を見出すことができる。	・イオン結合とイオン結晶 ・共有結合と分子 ・配位結合 ・分子間にはたらく力 ・高分子化合物 ・共有結合の結晶 ・金属結合と金属結晶	【知識及び技能】 イオン結合、共有結合、金属結合について理解し、それぞれの結合について説明できている。 イオン結晶・分子結晶・共有結合結晶・金属結晶の成り立ちについて理解し、それぞれの結晶の性質について説明できている。 【思考力、判断力、表現力等】 物質を構成する元素から、物質を作る化学結合を適切に予測し、説明できている。 物質を作る化学結合から、物質の性質を適切に予測し、説明できている。 【学びに向かう力、人間性等】 粒子の結合に興味を持ち、身の回りの物質の性質との関連を見出している。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 【知識及び技能】 原子や分子のような小さい粒子の量の表し方を理解できる。 化学反応式と化学反応の量的関係について理解できる。 代表的な濃度の表し方について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応式から化学反応の量的関係を適切に予測できる。 化学反応の量的関係を実験により確かめ、グラフや表を用いて適切に結果を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質や化学反応の量的関係に興味を持ち、意欲的に学習や実験に取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と物質質量 	<p>【知識及び技能】 原子や分子のような小さい粒子の量の表し方を理解できている。 化学反応式と化学反応の量的関係について理解できている。 代表的な濃度の表し方について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応式から化学反応の量的関係を適切に予測できている。 化学反応の量的関係を実験により確かめ、グラフや表を用いて適切に結果を表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 物質や化学反応の量的関係に興味を持ち、意欲的に学習や実験に取り組んでいる。</p>	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	<p>第2編 物質の変化 第2章 酸と塩基の反応 【知識及び技能】 酸や塩基の基本的な性質や定義を理解できる。 中和反応とその周辺の反応について理解し、量的関係について理解できる。 中和滴定の基本的な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな反応について、酸と塩基の反応と関連付けて科学的に考察することができる。 中和滴定の実験データから、適切に結果を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 酸と塩基に興味を持ち、身の回りの物質や反応との関連性を考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩 中和滴定 	<p>【知識及び技能】 酸や塩基の基本的な性質や定義を理解できている。 中和反応とその周辺の反応について理解し、量的関係について理解できている。 中和滴定の基本的な技能が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな反応について、酸と塩基の反応と関連付けて科学的に考察することができている。 中和滴定の実験データから、適切に結果を考察することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 酸と塩基に興味を持ち、身の回りの物質や反応との関連性を考えられている。</p>	○	○	○	22
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>第2編 物質の変化 第2章 酸化還元反応 【知識及び技能】 酸化還元反応についての基本的な定義を理解し、酸化還元反応の化学反応式を立式できる。 金属の酸化還元反応について理解し、電池の原理や電気分解の原理を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化剤と還元剤の反応を実験や、基本的な変化から予測し、立式できる。 電池の構成から電池の反応を予測することができる。 電気分解について、電極と電解液からその反応を予測することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化還元反応に興味を持ち、意欲的に学習や実験に取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用 	<p>【知識及び技能】 酸化還元反応についての基本的な定義を理解し、酸化還元反応の化学反応式を立式できている。 金属の酸化還元反応について理解し、電池の原理や電気分解の原理を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化剤と還元剤の反応を実験や、基本的な変化から予測し、立式できている。 電池の構成から電池の反応を予測することができる。 電気分解について、電極と電解液からその反応を予測することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化還元反応に興味を持ち、意欲的に学習や実験に取り組むことができている。</p>	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
							合計
							117

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

理科 科目 物理基礎

教科： 理科

科目： 物理基礎

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： (組：) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書： (数研出版 物理基礎)

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・物理の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察・実験などの基本操作を習得している。 ・観察・実験の過程や結果を的確に記録・整理し、それらを科学的に探究する技能を身に付けている。	・物理の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察・実験などを行っている。 ・観察・実験などから得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。	・実験・実習に意欲的に取り組み、その後の考察をきちんと行っている。 ・物理の事物・現象に主体的に関わり、それらを科学的に探究しようとしている。 ・探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に活かそうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1編 運動とエネルギー 1 運動の表し方 【知識及び技能】 ・等速直線運動についてx-t図とv-t図の特徴と、そのグラフがもたらす情報を理解させる。 ・等加速度直線運動における式を理解させ具体的な運用に慣れさせる。 ・重力のみを受けた物体の運動は加速度の大きさが重力加速度である等加速度直線運動であることに気づかせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動いている物体から見た他の物体の速度が相対速度であることを示し、相対速度の式を考察させる。 ・水平投射は、水平方向の等速直線運動と、鉛直方向の自由落下とに分解して扱えることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を考えさせる 定期考査	・指導事項 速度、加速度、落体の運動 ・教材 教科書、プリント、実験機器 プロジェクター等 ・一人1台端末の活用 等 iPad	【知識・技能】 ・物体の運動を表すには向きが必要であり、速さと速度、移動距離と変位の違いを理解している。 ・等加速度直線運動を表す3つの式がどのようにして得られたかを理解し、その式やグラフを正しく運用することができる。 【思考・判断・表現】 ・速度の意味、表し方についてグラフ上でどのように示されるかを正しく理解し、それをもとに物体の運動のようすを考察することができる。 ・重力加速度の意味を正しく理解し、落下する物体の運動のようすを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解しようとしている。 ・日常の運動から、落下する物体の運動に興味をもち、自由落下する物体の運動、鉛直投射された物体の運動の表し方を考えようとしている。	○	○	○	17
2 運動の法則 【知識及び技能】 ・力は、物体の変形や運動状態の変化の原因となるものであり、向きと大きさをもったベクトル量であることを理解させる。 ・物体にいくつかの力がはたらくとき、これらのx成分、y成分のつりあいの式が立てられるようにする。 ・慣性の法則では、物体にはたらく力の合力が0であるとき、物体は等速直線運動（または静止）を続けることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作用反作用の法則を理解し、つりあう2力の関係と作用反作用の2力の関係との違いが分かるようにする。 ・生じる加速度の大きさは質量に反比例し、力の大きさに比例することを、実験をもとにして理解させる。 ・液体や気体中にある物体には浮力がはたらくこと、および、浮力の大きさについてアルキメデスの原理が成り立つことを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の現象などを通して、様々な力があることに興味を寄せ、それらの力はどのようにしてはかることができるか、そもそも力とは何か、ということを考えさせる。 定期考査	・指導事項 力とそのはたらき 力のつりあい 運動の法則 摩擦を受ける運動 液体や気体から受ける力 ・教材 教科書、プリント、実験機器 プロジェクター等 ・一人1台端末の活用 等 iPad	【知識・技能】 ・注目する物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられる。 ・さまざまな運動をしている物体について、運動方程式を立てて考えることができる。 ・水圧を求める式を理解し、水中にある物体が静止しているとき、物体にはたらく力のつりあいの式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・作用・反作用の2力とつりあいの2力の違いを理解し、力のつりあいの式を考えたり、それぞれの2力の間の関係について説明できる。 ・摩擦力がどのような力かを理解し、運動を妨げる向きに働く運動について考えることができる。 ・水中にある物体には、どのような水圧が加わるか、またどのような浮力がはたらくかを正しく理解し、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・見ること、触ることができない「力」に対して、どのようにして力の存在がわかるのか、また力にはどのような種類があるのかについて考えようとしている。 ・摩擦力がないときと比較するなどして、どのようなときに静止摩擦力や動摩擦力が現れるか、またそのときの物体の運動について、興味・関心をもち考えようとしている。 ・日常の現象などを通して、水中や空気中で圧力があることに興味を寄せ、それらの圧力はどのようにしてはかることができるか、そもそも圧力とは何か、ということを考えようとしている。	○	○	○	24
定期考査						1

2 学 期	<p>3 仕事と力学的エネルギー</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の定義を正確に把握させる。 ・物体の運動エネルギーの変化が物体にされた仕事に等しいこと、またこの関係が導かれる過程を理解させる。 ・「物体の運動エネルギーの変化は、物体にされた仕事に等しい」ことを用いて重力による位置エネルギーが mgh [J] であることを理解させる。 ・弾性力による位置エネルギーについては、$1/2 \times kx^2$ の式で表される過程を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体の移動方向に垂直にはたらく力は仕事をしないこと、移動の向きと力の向きが逆のときは仕事は負になること、および、正・負の仕事の意味について具体的に理解させる。 ・一般に、力学的エネルギー保存則は、物体にはたらく力が保存力だけのとき、あるいは保存力以外の力がはたらいなくてもその力が物体に対して仕事をしないときに成り立つことを理解させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力学的エネルギー保存則について実験に意図的に取り組み、力学的エネルギー保存則についての考察を深めようとしている。 	<p>・指導事項</p> <p>仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存</p> <p>・教材 教科書、プリント、実験機器 プロジェクター等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 iPad</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事、仕事率を計算して求めることができる。 ・運動エネルギーが $1/2 \times m v^2$ であることを理解している。 ・重力、弾性力による位置エネルギーを計算することができる。 ・さまざまな物体の運動について、力学的エネルギー保存則を用いることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動エネルギーの変化は物体にされた仕事に等しいことを用いて、物体の運動を説明できる。 ・重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーについて説明することができる。 ・力学的エネルギー保存則を用いて、物体の運動を定性的に考えることができる。 ・力学的エネルギー保存則を用いて、運動する物体のもつ運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの変化のようすを説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置エネルギーは、運動エネルギーのように動きがあり目立つものではないが、仕事をする能力を「秘めて」いることに興味をもち、理解しようとしている。 ・力学的エネルギー保存則について興味関心をもち、理解しようとしている。 	○	○	○	20
	<p>第2編 熱</p> <p>1 熱とエネルギー</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱容量や比熱の定義を理解させたうえで、温度を ΔT [K] 変化させるのに必要な熱量を、熱容量や比熱を用いて表すことができるようにする。また、外部との熱のやりとりがない場合、熱量が保存されることを理解させる。 ・物質には、固体、液体、気体の3つの状態が存在し、いずれの状態でも熱運動があることを理解させる。 ・気体の内部エネルギーは、温度が高いほど、また分子の数が多ほど大きくなることを理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱の移動がエネルギーの移動であることを説明し、熱がエネルギーの一形態であることを理解させる。また、熱平衡、熱の移動、熱量、および、これらの関係についても理解させる。 ・物体の内部エネルギーを変化させる方法は2種類あり、それは熱することと仕事することであること（熱力学第一法則）を理解させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事が熱に変化するものや、熱が仕事に変化するものが何か、考えようとする。また熱と仕事の実験に主体的に取り組んでいる。 	<p>・指導事項</p> <p>熱と熱量 熱と物質の状態 熱と仕事 不可逆変化と熱機関</p> <p>・教材 教科書、プリント、実験機器 プロジェクター等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 i-pad</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されている。また熱量の保存について、熱量保存の式を立てることができる。 ・仕事と熱の関係や熱力学第一法則について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明できる。 ・水の状態図から情報を読み取り、日常的な事象について理由などを推測し、説明することができる。 ・日常的な現象を熱と仕事の関係を踏まえて説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち、理解しようとしている。 ・熱と仕事の関係について興味関心をもち、理解しようとしている。 	○	○	○	26
	定期考査						

3 学 期	<p>第3編</p> <p>1 波の性質</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 波動とは、媒質の1点に起こった振動が、媒質中を少しずつ遅れて伝わっていく現象であることを理解させる。 振幅、周期、振動数、波長そして波の伝わる速さ。また、媒質がどのような振動状態であるかを表す量である位相について扱い、同位相、逆位相についても理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ばねにつり下げたおもりの周期的な往復運動が単振動であり、単振動の伝搬による波が正弦波であることを理解させる。 自由端では位相は変わらず、山の人射波は山として反射されるが、固定端では位相が半波長ずれて、山は谷として反射されることを理解させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 媒質の動き、反射するときの位相の変化についてどのようなようになるか、興味を持って、自分の考えを述べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 波と媒質の運動 波の伝わり方 教材 教科書、プリント、実験機器 プロジェクター等 一人1台端末の活用 等 iPad 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 波の発生原理や基本事項を理解している。 縦波と横波の違いを理解している。 ウェーブマシンの実験・観察を通して、波の重ねあわせの原理や自由端・固定端での波の反射について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 波の伝わるようすを、グラフで表現することができる。 波に基本事項について説明できる。 与えられた情報を正しく読み取り、問いに答えられている。 定在波を発生させる条件を正しく理解し、説明できる。 固定端と自由端での波の反射について、その違いを明確に説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。 波が衝突や反射するときどのようなようになるか、興味を持って、自分の考えを述べることができる。 	○	○	○	26
	<p>2 音</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間を伝わる音波は空気を媒質とする縦波である（真空中では音波は伝わらない）。 弦の振動は、弦の両端を節とする定在波であることを、観察をもとにして理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> うなりの現象を実験によって観察させ、その理由を考察できる。 気柱の固有振動は開端を腹、閉端を節とする定在波であることを把握させる。 振動体にその固有振動の周期と等しい周期で変化する外力を加えると、振動体は大きく振動するようになる（共振・共鳴）ことを理解させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 弦や気柱の振動の実験や、振り子の共振の実験において、主体的に取り組んでいる。 音に関する問いかけについて、自分の言葉で表そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 音の性質 発音体の振動と共振・共鳴 教材 教科書、プリント、実験機器 プロジェクター等 一人1台端末の活用 等 iPad 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活での体験を通して、音の波としての性質を理解している。 弦や気柱の振動と音の高さの関係について理解している。 試験管を使って、気柱の振動と音階の関係を確認でき、理解できている。 気柱共鳴装置を用い、気柱の共鳴音からおんさの振動数を求めることができ、理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音を伝える際、空気などの媒質が必要であることを説明できる。 音の特徴づける3要素について説明できる。 うなりの現象であるかを説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 弦や気柱の振動の実験や、振り子の共振の実験において、主体的に取り組んでいる。 音に関する身近な問いかけについて、自分の考えを述べることができる。 身近な音の現象に興味をもち、基本事項について理解しようとしている。 	○	○	○	
	定期考査						1
合計							117

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 体育(男子)

教科: 保健体育 科目: 体育(男子) 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者: (1～8 組:) (組:) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: (『現代高等保健体育 改訂版』(大修館書店)・『ステップアップ高校スポーツ』(大修館書店))

教科 保健体育 の目標: 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育(男子) の目標: 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 バドミントン 【知識及び技能】 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなど、健康・安全を確保すること。	・指導事項 基本動作、ダブルスの動き ゲーム運営 ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・競技会でゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルールなどの調整の仕方などがあることを理解している。 ・ボールを相手側のコートに守備のない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・作戦などを話し合う場面で合意形成に貢献しようとする。	○	○	○	10
	B 単元 柔道 【知識及び技能】 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、健康・安全を確保すること。	・指導事項 基本動作、受け身、投げ技、固め技、連続技、試合など ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・姿勢と組み方では相手の動きの変化に応じやすい自然体で組むことができる。 ・相手の投げ技に応じて横受け身、後ろ受け身、前回り受け身をとることができる。 ・基本的な技を取と受の双方が比較的安定して投げたり、受けたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について自己の考えを伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとすることができる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	○	○	○	10
	C 体育理論 【知識】 ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	・指導事項 ・合理的な動きを理解し、先週によってそれを身に着ける。必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やうぼ一つを生涯にわたって継続していくための基礎を気付けるようにする。 教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出等。	【知識】 ・生涯にわたって継続的に運動やトレーニングをする基礎を身に着けたか。スポーツと継続的にかかわり、ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツライフを設計することができるか。	○	○	○	8

2 学 期	<p>D 単元 水泳</p> <p>【知識及び技能】 バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする こと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする こと、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ことなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 バタフライの泳法 スタート、ターン ・ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 学習の振り返りのオンライン提出 等</p>	<p>【知識・技能】 ・バタフライの技術の構成要素を理解し、安定したフォームとペースで泳いでいる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・水泳に主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>E 単元 柔道</p> <p>【知識及び技能】 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする こと、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ことなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 基本動作、受け身、投げ技、固め技、連続技、試合など ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等</p>	<p>【知識・技能】 ・姿勢と組み方では相手の動きの変化に応じやすい自然体で組むことができる。 ・相手の投げ技に応じて横受け身、後ろ受け身、前回り受け身をとることができる。 ・基本的な技を取と受の双方が比較的安定して投げたり、受けたりすることができる</p> <p>【思考・判断・表現】 ・合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとすることができる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ことができる。</p>	○	○	○	10
	<p>F 単元 サッカー</p> <p>【知識及び技能】 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、合意形成に貢献しようとする こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする こと、互いに助け合い高め合おうとする ことなど、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ドリブル、シュート、パス、チームプレー、チーム戦術 ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等</p>	<p>【知識・技能】 ・競技会でゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルールなどの調整の仕方などがあることを理解している。 ・シュートをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができる。 ・ゴールの枠に正確にシュートやパスをすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・作戦などを話し合う場面で合意形成に貢献しようとする ことができる。</p>	○	○	○	10

3 学 期	<p>G 単元 球技 バasketボール</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなど、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項</p> <p>ドリブル、シュート、パス、チームプレー、チーム戦術</p> <p>・教材</p> <p>ステップアップ高校スポーツ</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・競技会でゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルールなどの調整の仕方などがあることを理解している。</p> <p>・シュートをしたり、パスを受けたりするため味方が作り出した空間に移動することができる。</p> <p>・ゴールのエリアに正確にシュートやパスをすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p> <p>・作戦などを話し合う場面で合意形成に貢献しようとする。</p>	○	○	○	10
	<p>H 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、工夫して改善する。</p> <p>・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・主体的に運動に参加する。</p> <p>・高い目標を持ち、挑戦する。</p> <p>・仲間と協力して活動にのぞむ。</p>	<p>・指導事項</p> <p>ボールを使った動き</p> <p>リズムに乗った動き</p> <p>大縄</p> <p>体ほぐしの運動</p> <p>・教材</p> <p>ステップアップ高校スポーツ</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・縄跳び(短縄)の技の構成要素を理解し、安定した跳躍で技をこなすことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・体づくり運動に主体的に取り組んでいる。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>I 陸上(持久走)</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・自己に適したペースを維持して走る。</p> <p>・長い距離を走るためのフォーム、呼吸法を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・動きなどの自己や仲間の課題を発見することができる。</p> <p>・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・主体的に運動に参加しようとする。</p> <p>・高い目標を持ち、挑戦しようとする。</p> <p>・仲間と協力して活動にのぞんでいる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>持久走</p> <p>心拍数と運動強度</p> <p>・教材</p> <p>ステップアップ高校スポーツ</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・持久走に主体的に取り組んでいる。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p>	○	○	○	5
							合計
							78

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 体育(女子)

教科: 保健体育

科目: 体育(女子)

単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 1組～8組

教科担当者: (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: 『現代高等保健体育 改訂版』(大修館書店)・「ステップアップ高校スポーツ」(大修館書店)

教科 保健体育

の目標: 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育(女子)

の目標: 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性及び体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A ダンス</p> <p>【知識及び技能】 音楽に合わせて、リズムを取れるようにする。アイソレーショントレーニング・ストレッチにより体の柔軟性・技巧性を養う。基礎的なターン練習とその修得。 ダンス用語・知識の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動きを使った効果的な表現方法を見つける。適切なテーマを見つける。テーマを体で表現する。個人またはグループでテーマを表現する。正しく他の作品を評価する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の体の使い方を工夫し新たな表現を発見する。ダンスノートを作成し、書くことでダンスの振りを伝えられるようにする。グループで表現することを十分に理解する。</p>	<p>A ダンス</p> <p>【知識及び技能】 音楽に合わせて、アイソレーショントレーニング・ストレッチ。 基礎的なターン練習。リズムトレーニング。Ipadによるダンス用語の調べ学習。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム遊び・ゲーム。ダンスノート作成。ラヂオ体操をノートで表現する。iPadの使ってダンスノートを提出。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の体の使い方を他の生徒と見せ合い互いに評価し、アドバイスをする。グループで表現することを十分に理解し協力して短い創作ダンスを作成する。</p>	<p>【知識・技能】 実技テスト・クラッシャーノートによる提出物 【思考・判断・表現】 ダンスノートを通して書くことで振り付け内容を伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワーク 創作発表の内容</p>	○	○	○	10
<p>B 単元 アルティメット</p> <p>【知識及び技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなど、健康・安全を確保すること。</p>	<p>基礎スルー・ステップ練習 ルールの確認 パスキャッチ練習 チーム練習 ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 実技テスト・記録 【思考・判断・表現】 体の使い方 ゲーム内容試合の進め方 【主体的に学習に取り組む態度】 チーム練習 ゲーム内容</p>	○	○	○	10
<p>D 体育理論</p> <p>【知識】 ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>・指導事項 ・合理的な動きを理解し、先週によってそれを身に着ける。必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やうほ一つを生涯にわたって継続していくための基礎を気付けるようにする。 教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人一台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出等。</p>	<p>【知識】 ・生涯にわたって継続的に運動やトレーニングをする基礎を身に着けたか。スポーツと継続的にかかわり、ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツライフを設計することができるか。</p>	○	○	○	8

1学期

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教科: 保健体育 科目: 保健 単位数: 1 単位
 対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者: (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: (現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店))

教科 保健体育 の目標: 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける
 【知識及び技能】健康に関する適切な意識決定や行動選択の重要性について理解を深め、生涯を通じて自他の健康管理ができる資質や能力を身につける。
 【思考力、判断力、表現力等】健康について自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他社に伝える力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】健康の保持増進に関心を持ち、自らの生活を見直し改善していこうとする態度を養う。

科目 保健 の目標: 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
健康に関する適切な意識決定や行動選択の重要性についての理解を深め、実践できるようにする。生涯を通じて自他の健康管理ができる資質や能力を身につける。	健康について自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他社に伝える力を養う。	健康の保持増進に関心を持ち、生涯を通じて自らの生活を見直し改善していこうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
「思春期と健康」 【知識及び技能】 思春期における心身への変化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 思春期における心身の変化を理解し、正しい行動選択を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 思春期における心身への変化について関心を持ち、自身の意思決定・行動選択について顧みる。	・指導事項 男性では射精が起こること、女性では月経が起こること、それらには個人差があることを理解させる。 精神的に不安定になる場合があることを理解させ、悩みや不安などのように対処すればよいかについて理解させる。 ・教材 現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店) ・一人1台端末の活用 等 パワーポイント等	【知識・技能】 思春期における心身への変化について理解している。 【思考・判断・表現】 思春期における心身の変化を理解し、正しい行動選択を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 思春期における心身への変化について関心を持ち、自身の意思決定・行動選択について顧みることができる。			○	3
「性への関心・欲求と性行動の選択」 【知識及び技能】 性情報に対する適切な対処の仕方、必要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 性的関心についての男女の特性を知り、男女差に関する誤解の問題やそれを防止するための方法を具体的にあげられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 性意識に関する男女の特性を踏まえ異性を尊重する態度を養う。	・指導事項 自分自身が選択する性行動は、自分だけの問題ではなく、相手の人生もかかわっていること。正しい情報に基づき、相手の健康や人生について考えることが大切であることを理解させる。 ・教材 現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店) ・一人1台端末の活用 等 パワーポイント等	【知識及び技能】 性情報に対する適切な対処の仕方、必要性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 性的関心についての男女の特性を知り、男女差に関する誤解の問題やそれを防止するための方法を具体的にあげられる。 【学びに向かう力、人間性等】 性意識に関する男女の特性を踏まえ異性を尊重することができる。			○	2
「結婚生活と健康」 【知識及び技能】 結婚生活を健康的なものにしていくために必要なことを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 共同生活である結婚生活には様々な面での発達が必要である。それらの内容を具体的にあげられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 結婚生活と健康について関心を持ち、自分や家族の健康をどのように築いていくのかを意欲的に学べるようにする。	・指導事項 家庭は社会の最小単位であり、また、個人の健康増進に直接関係する。そのような家庭を築く出発点が結婚であることを理解させる。 ・教材 現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店) ・一人1台端末の活用 等 パワーポイント等	【知識及び技能】 結婚生活を健康的なものにしていくために必要なことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 共同生活である結婚生活には様々な面での発達が必要である。それらの内容を具体的にあげられる。 【学びに向かう力、人間性等】 結婚生活と健康について関心を持ち、自分や家族の健康をどのように築いていくのかを意欲的に学んでいる。			○	2
「妊娠・出産と健康」 【知識及び技能】 受精・妊娠・出産の過程を理解し、胎児や母親の健康問題、予防や健康のための支援について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 受精・妊娠・出産期の健康について自分自身にできることを具体的に考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 妊娠・出産期における健康について関心を持つ。	・指導事項 妊娠・出産期の健康について理解させる。また、周囲の支援・公的サービスの活用についても理解させる。 ・教材 現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店) ・一人1台端末の活用 等 パワーポイント等	【知識及び技能】 受精・妊娠・出産の過程を理解し、胎児や母親の健康問題、予防や健康のための支援について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 受精・妊娠・出産期の健康について自分自身にできることを具体的に考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 妊娠・出産期における健康について関心を持っている。			○	3

1 学期

	<p>家族計画と人工妊娠中絶</p> <p>【知識及び技能】 家族計画の意義や方法について理解する。様々な避妊方法について理解し、望まない妊娠の結果行われる人工妊娠中絶が女性の心身に与える影響について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 不確かな避妊方法について、学習したことを活かし、科学的根拠をもって否定できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 家族計画と人工妊娠中絶について関心を持ち、望まない妊娠を避けるための自覚を育む。</p>	<p>・指導事項 女性だけの問題でなく、男女問わずお互いの問題であることを意識させる。</p> <p>・教材 現代高等保健体育 改訂版（大修館書店） ・一人1台端末の活用 等 パワーポイント等</p>	<p>【知識及び技能】 家族計画の意義や方法について理解している。様々な避妊方法について理解し、望まない妊娠の結果行われる人工妊娠中絶が女性の心身に与える影響について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 不確かな避妊方法について、学習したことを活かし、科学的根拠をもって否定できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 家族計画と人工妊娠中絶について関心を持ち、望まない妊娠を避けるための自覚を身につけている。</p>	○	○	○	2
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	発表授業	<p>・指導事項 各発表単元において、基礎知識を盛り込んだ資料作成を行わせる。</p> <p>・教材 現代高等保健体育 改訂版（大修館書店） 発表資料 ・一人1台端末の活用 等 パワーポイント等</p>	<p>【知識及び技能】 発表資料、パワーポイントを評価する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 発表メモ、読み原稿を評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各提出物の提出状況、授業態度において評価する。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	発表授業	<p>・指導事項 各発表単元において、基礎知識を盛り込んだ資料作成を行わせる。</p> <p>・教材 現代高等保健体育 改訂版（大修館書店） 発表資料 ・一人1台端末の活用 等 パワーポイント等</p>	<p>【知識及び技能】 発表資料、パワーポイントを評価する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 発表メモ、読み原稿を評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各提出物の提出状況、授業態度において評価する。</p> <p>発表後に作成する抄録、発表時の様子、振り返り</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
				○	○	○	合計 39

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～8組
 教科担当者：(1組～8組)
 使用教科書：(TuttiⅡ)
 教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め、音楽文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
1 学 期	無伴奏混声四部合唱の響きを味わおう。 【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声とのかかわりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	・無伴奏混声四部合唱曲 合唱祭課題曲 ・アカペラ合唱の響きの特徴を捉え全体の響きを意識して合唱する。 ・読譜に必要な知識を身に付ける。 ・パート別デジタル音源配信 ・楽典学習プリント ・実技テスト	○		○	【知識及び技能】言葉の特性と合唱にふさわしい発声とのかかわりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に合唱練習に取り組んでいる。	○	○	○	18
	外国語の発音を生かした表現を工夫して表現豊かに歌おう。 【知識及び技能】外国語の言葉の発音の特性と曲種に応じた発声とのかかわりについて理解し、それらを生かして歌唱表現する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	・イタリア歌曲「Ner cor piu non mi sento」 ・ドイツ歌曲「子守歌」 ・デジタル音源配信 ・個人実技テスト	○		○	【知識及び技能】外国語の言葉の特性とふさわしい発声とのかかわり、身体の使用方について理解している。言葉と旋律との創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に練習に取り組んでいる。	○	○	○	10
2 学 期	ギターアンサンブルに親しもう 【知識及び技能】楽器の音色や奏法との関わりについて知り、ギターの特徴を生かして演奏する。音楽を形づくっている要素、及び音楽に関する用語や記号などについて音楽における働きと関わらせて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】表現形態の特徴を生かし、他者との調和を意識して演奏する。ギターの音色や楽曲の特徴や良さを生かした表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】他者との調和を意識し、主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	・ギターアンサンブル曲「木星」 ・個人実技テスト・発表会形式テスト ・デジタル音源 ・演奏動画配信	○		○	【知識及び技能】楽器の音色や奏法との関わりについて知り、ギターの特徴を生かして演奏する。音楽を形づくっている要素、及び音楽に関する用語や記号などについて音楽における働きと関わらせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】ギターアンサンブルの形態の特徴を生かし、他者との調和を意識して演奏している。 【学びに向かう力、人間性等】他者との調和を意識し、主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	○	○	○	32

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術 科目：美術Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：(1, 2組：) (3, 4組：) (5, 6組：) (7, 8組：)

使用教科書：(高校生の美術2 (日本文教出版))

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映					
1 文化祭ポスター、パンフレットのデザイン 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かす。 ・表現方法を工夫し、目的や計画を基に創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や条件・美しさなどを考え、主題を生成する。 ・デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にデザインの表現及び鑑賞の活動に取り組む。	1 文化祭ポスター、パンフレットのデザイン ・身の回りのデザインを通して、デザインの役割について知る。 ・制作を通して目的や用途に適した企画・制作の重要性を理解する。 ・描画材の特性を生かした使い方、表現の方法を学ぶ。 ・中間講評、鑑賞	○	○	○	1 文化祭ポスター、パンフレットのデザイン 【知識及び技能】 ・色彩三要素(色相、明度、彩度)の働きやデザインに求められる目的や用途の役割を理解した表現をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・デザインの役割について理解することを意識し、条件や目的といった機能面に美しさを加えたテーマを生み出している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にデザインの表現及び鑑賞の活動に取り組んでいる。(タイムマネジメント、振り返り、授業時の様子や発言、デザインノート等)	○	○	○	20
1 籐(ラタン)の器制作 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かす。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・造形的な良さや美しさを感じ取り自ら様々な表現に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に抽象表現の及び鑑賞の活動に取り組む。	1 籐(ラタン)の器制作 ・参考作品を鑑賞するとともに制作手順を把握し、自身の作品の構想を練る。 ・資料収集やエスキースからアイデアを固める。 ・制作工程を意識し、道具の特性を生かして制作を行う。 ・中間講評、鑑賞	○	○	○	1 籐(ラタン)の器制作 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・造形的な良さや美しさを感じ取り自ら様々な表現に取り組もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	20

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅡ 単位数: 3 単位
 対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 8 組
 教科担当者: (組:) (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: (Heartening English Communication Ⅱ)

- 教科 外国語 の目標:
- 【知識及び技能】ことばの知識・技能の習得に加えて、豊かな言語観を育成する。
 - 【思考力、判断力、表現力等】豊かな文化観と真の国際理解のための資質・能力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書						
1 学 期	Lesson 1 Laughter without Borders 海外で狂言を広めている、チェコ出身のオンジェイ・ヒーブル氏へのインタビューを読む。伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。	・未来を表す表現 ・時制の一致 複数の日本文化についてのインタビューを聞く。また、好きな日本文化について友人にインタビューをする。 外国人にインタビューした内容について、教室で伝える。インタビューに答えるためのメモを書く。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 日本文化を広める外国人の活動について内容を整理し、本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 日本文化に関するインタビューを聞いて、話の展開や話し手の意図を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本文化に関するインタビューを読んで、要点や語り手の意図を理解しようとしている。	○	○	○	9
	Lesson 2 The Ongoing Voyages of Curry インドのカレーがどのように日本のカレーへと変貌したかについての説明文を読む。伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。	・未来完了形 ・前置詞 カレーの種類についての会話を聞く。オリジナルカレーの作り方について話し合う。インド人の友人がいる想定で、日本のカレーについて英語で伝える。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 インドのカレーがどのように日本のカレーになったかについて内容を整理し、本課で学習した文法や新語などを用いて話す技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 カレーの歴史に関する記事を読んで、要点や詳細を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 カレーの歴史に関する記事を読んで、要点や詳細を理解しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査							○	○		1	
	Lesson 3 The World's Most Bicycle-friendly City コペンハーゲンがどのようにして世界有数の自転車都市となったかについての説明文を読む。環境の保全に寄与する態度や、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	・助動詞+have+過去分詞 ・助動詞に関連する表現□ 自転車利用を妨げる要因と解決策についての会話を聞く。問題解決の提案に対して質問する。コペンハーゲンの自転車政策について、友人に英語で伝える。問題解決のための提案書を英語で書く。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 コペンハーゲンの自転車政策について内容を整理し、本課で学習する表現などを用いて紹介記事を書く技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 自転車を利用しやすくするための意見を聞いて、要点や詳細を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自転車を利用しやすくするための意見を聞いて、要点や詳細を理解しようとしている。	○	○	○	10
	Lesson 4 Can You Feel Emotions in Text? 国や文化による顔文字の違いについての論証文を読む。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求めめる態度や、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。	・さまざまな動名詞 ・動名詞を使った表現 絵文字の使い方についての会話を聞く。日常的な話題について会話を続ける。日本と世界の顔文字の違いについて、友人に伝える。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 絵文字の解釈についての論証文を読んで、要点や詳細を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 メールのやりとりに関する会話を聞いて、話の展開や話し手の意図を理解しようとしている。	○	○	○	9
定期考査							○	○		1		

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅱ 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～8組
 教科担当者：(組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書：(Vision Quest English Logic and Expression II Ace)
 教科 外国語の目標：

- ・英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。
 - ・目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。
- 【知識及び技能】
- 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【知識】英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解できる。 【技能】目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Lesson1 What is your future goal? 【知識及び技能】 主語の選択や主語になる名詞句、形式主語の概念を理解し、適切な文を組み立てる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の目標と達成のために必要なことについて、文と文のつながりを意識して書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 子供の理想の仕事について書かれた文章を読んで、適切な主語の使い方を理解する。	・指導事項 主語 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson2 What school events do you have? 【知識及び技能】 自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いたりして文を組み立てる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の高校の行事について紹介する文章を、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 学校で新しい友達を作る方法について書かれた文書を読んで、適切な動詞の使い分けについて理解する。	・指導事項 自動詞 他動詞 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	7
	Lesson3 Who is the best athlete? 【知識及び技能】 現在・過去・未来を表すために、適切な動詞の形や文の構造を用いる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きなアスリートと業績について、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。 【学びに向かう人間性等】 スポーツの歴史について書かれた文章を読んで、時を表す表現の概念を理解する。	・指導事項 時制 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson4 Is social media safe? 【知識及び技能】 義務・必要・推量を表すために、助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 【思考力、判断力、表現力等】 ソーシャルメディアの利点と欠点の比較について、パラグラフの構成に意識して、自分の意見や主張を書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ソーシャルメディアの利点と欠点の比較について、パラグラフの構成に意識して、自分の意見や主張を書いて伝える。	・指導事項 助動詞 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	7
定期考査							○	○		1	

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間

科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ 『課題探究メソッド 2nd Edition よりよい探究活動のために』（啓林館） ）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】 課題の発見と解決に必要な知識および技能を身に付け探究の意義や価値を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に必要な情報を収集して分析し、論理的な提言内容を表現する。

【学びに向かう力、人間性等】 自己の在り方生き方を考え、社会の形成者としての自覚をもち社会に貢献しようとする。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を収集し、整理・分析してまとめ、それらを表現することができる。	探究に主体的に取り組むとともに、他者との協働活動を通じて、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	探究活動の計画 【知識及び技能】 ・オリエンテーション 【思考力、判断力、表現力等】 ・テーマ決め ・調査探究計画書の作成 【学びに向かう力、人間性等】 授業外でも探究活動に主体的に取り組む、理解を深めようとする。	・オリエンテーション ・テーマ・ゼミ決め ・調査探究計画書の作成 ・『課題研究メソッド よりよい探究活動のために』を活用 ・iPad・Classiの活用	【知識・技能】 調査探究計画書の作成状況により、知識の理解度を判断する。 【思考・判断・表現】 調査探究計画書の作成 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りのアンケートへの記入状況により、積極的に探究活動への理解を深めようとしているかを判断する。	○	○	○	2
	探究活動（校外調査の計画） 【知識及び技能】 校外調査の調査内容、実施方法などの計画 【思考力、判断力、表現力等】 校外調査実施計画書の作成 【学びに向かう力、人間性等】 グループまたは個人で探究活動に主体的に取り組む	・実施可能な校外調査実施計画書の立案と実施準備 ・『課題研究メソッド よりよい探究活動のために』を活用 ・iPad・Classiの活用	【知識・技能】 調査対象に関する情報を踏まえた上で校外調査の実施計画を立てる。 【思考・判断・表現】 テーマに沿った実施可能性のある校外調査の計画を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りのアンケートへの記入状況により、積極的に探究活動への理解を深めようとしているかを判断する。	○	○	○	3
	探究活動（校外調査の実施） 【知識及び技能】 校外調査の調査内容、実施方法などの精査・修正 【思考力、判断力、表現力等】 校外調査実施計画書に基づいた実施 【学びに向かう力、人間性等】 グループまたは個人で探究活動に主体的に取り組む	・校外調査の実施 ・文献調査・アンケート調査・現地調査などを行う。 ・『課題研究メソッド よりよい探究活動のために』を活用 ・iPad・Classiの活用	【知識・技能】 校外調査実施計画書に基づき、課題の探究のために必要な調査を行う。 【思考・判断・表現】 校外調査の調査結果を記録する。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りのアンケートへの記入状況により、積極的に探究活動への理解を深めようとしているかを判断する。	○	○	○	9

2 学 期	資料作成 中間発表会 【知識及び技能】 中間発表の内容、発表資料などの作成 【思考力、判断力、表現力等】 発表資料などの作成 【学びに向かう力、人間性等】 グループまたは個人で探究活動に主体的に取り組む	・中間発表の実施 ・校外調査の結果をまとめ、中間発表の発表資料の作成などを行う。 ・『課題研究メソッド よりよい探究活動のために』を活用 ・iPad・Classiの活用	【知識・技能】 校外調査の調査結果に基づき、これまでの探究活動の成果と今後の課題について、中間発表の発表資料に用いることができるように、データの整理およびグラフや表にまとめる。 【思考・判断・表現】 中間発表の発表用のスライドを作成する。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りのアンケートへの記入状況により、積極的に探究活動への理解を深めようとしているかを判断する。	○	○	○	7
	論文の作成 発表会の準備 【知識及び技能】 学術論文の構成についての理解を深め、調査探究活動の内容を論文にまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 調査探究活動の内容を論文としてまとめる。 調査内容を図やグラフ・表などにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 グループまたは個人で探究活動に主体的に取り組む	・研究論文の構成・内容・作成手順について ・ポスター発表の仕方、工夫について ・各項目の役割・書き方について ・『課題研究メソッド よりよい探究活動のために』を活用 ・iPad・Classiの活用	【知識・技能】 探究活動の内容を、研究論文に用いることができるように、データを整理してグラフや表にまとめられているか。 【思考・判断・表現】 ひな形に基づいて、調査探究活動の内容をまとめ、論文として作成する。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りのアンケートへの記入状況により、積極的に探究活動への理解を深めようとしているかを判断する。	○	○	○	9
3 学 期	論文の作成 発表会の準備 【知識及び技能】 調査探究活動の論文集にまとめられるように、論文を修正する。 【思考力、判断力、表現力等】 調査探究活動の内容を論文としてまとめる。 調査内容を図やグラフ・表などにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 グループまたは個人で探究活動に主体的に取り組む	・調査探究活動の論文の修正 ・「探究活動成果発表会」での発表 ・体験集の作成	【知識・技能】 研究論文が完成できたか。また、その内容が充実しているか。ポスターが分かりやすくまとめられているか。体験集に調査探究活動での経験をきちんとまとめられているか。 【思考・判断・表現】 発表内容を、観客にうまく説明できている。質疑応答、ディスカッションがきちんとできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りのアンケートへの記入状況により、積極的に探究活動への理解を深めようとしているかを判断する。	○	○	○	9
						合計	39